

オルタスクエアは、今住んでいる住まいのメンテナンスやリフォームを適時適切に施すことで、地域の中で住み続けていけることを大切な価値と考えます。また、新たに住宅を建てる時には、住まい手の健康を支え、地域の中でのコミュニケーションを育み、自然環境と共生できる、サステナブルで耐久性の高い住宅をつくらせたいと考えます。

**オルタスクエアが  
住まい手の皆さんに伝えたい情報**

**飛び込み業者は絶対に屋根に上らせない**

相変わらず訪問業者が、「近所で工事をしているものですが、お宅の屋根の板金が浮いているのが見えたのでお声をかけさせていたいただきました」と訪問してくるケースがなくなりません。絶対に屋根にあげないようにしてください。中には、写真のように、実際に屋根の上で板金を傷めたりする悪質な者もいます。

屋根についてご心配なことがありましたら  
当社の「有料屋根点検」(税込9900円)をご利用ください。写真とともに報告書をお出しします。

**雨漏りの解決は大事！雨染みをみたらご相談を**

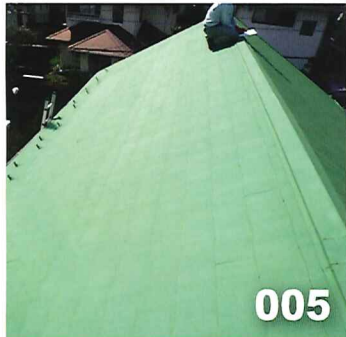
室内に雨染みが出てくるのは、どこから雨が浸入していることの現れです。木材は濡れてもすぐに乾けば問題ありませんが、常に雨水が入り込んで濡れた状態が続くと腐ってきてしまいます。傷みが広がるのを防ぐために、原因を調査し、防水工事を行いまししょう。写真の事例では、原因は2階のバルコニーの防水不良でした。

**床下の殺虫剤は  
住まいに関わる化学物質の中でも一番危険です**

一般に行われているシロアリ防除では、5年間シロアリの防除のために大量の駆除剤を撒きます。例えば床下面積が50㎡とすると、土壌の場合には原液換算で1・5リットルを散布します。

床下のシロアリ駆除剤は、有機リン系が最も多く、ネオニコチノイド系がそれに続きます。有機リン系殺虫剤は体内に残留することでアレルギー反応を悪化させることが実験で確かめられています。また、ネオニコチノイド系は、ミツバチなどの昆虫に重大な影響を及ぼします。

オルタスクエアでは、できるだけ薬剤は使わず、使う場合も沖縄の植物月桃の成分でシロアリの駆除します。  
床下のシロアリにご心配がありましたら  
まずは、床下有料診断(税込8800円)をご利用ください。



005

屋根にセラミック断熱塗料を塗りました



004

インナーサッシ



003

床下での月桃(げっとう)散布



002

1階の和室天井の雨染み



001

屋根に上がった悪質業者によって壊された桧板金

いまを大切に暮らすために

メンテナンスもリフォームも新築設計も、住まい手との「対話」、そして住まい手の「参加」がとても大事です。ご家族が、自身の住まいを取り巻く様々な問題やその解決について、知識を得ながら、健康で、環境に優しく、安心して長く住むことのできる住宅を実現していくことを、生活クラブ・福祉クラブの「住まい部門」として、お手伝いしていきます。

**冬の寒さを防ぐ  
省エネ住宅にするには窓が急所**

冬、室内の暖気が外に逃げていくとき、58%は窓や玄関などの開口部、15%は換気が出ていくとされています。窓の断熱性を高めることで、寒さを防ぐことができます。同時に、暖房エネルギー消費量を減らすことができます。インナーサッシ(二重窓)や真空ガラスなどの方法があります。

**夏の暑さを抑える3点セット**

年を追うごとに夏が暑くなっています。その暑さを抑える対策があります。  
①窓からの日射侵入を防ぐための、布製日よけや、可動ルーバー面格子  
②屋根の熱を外に逃がす「換気棟」  
③屋根に降り注ぐ日射熱を防ぐ「セラミック断熱塗料」

**自然素材(無垢材・漆喰・珪藻土)には人の健康を支える力があります**

無垢材、漆喰、珪藻土は、夏は湿気を吸収し、冬は湿気を放出することで室内を程よい湿度に保つ力、空気をきれいにする力があります。また、漆喰はアルカリ性が高いため、カビやウイルスを抑制します。



006



敷地面積 226.91㎡ (68.65坪)  
延床面積 85.19㎡ (26.77坪) + ロフト 12.57㎡ (3.8坪)



リビングダイニングから広縁に続く。ロフトに上がる階段もここに。

リビングダイニング。テーブルの下は掘り炬燵。上にはロフト図書室。木製サッシ。奥は奥様のワークスペースとお嬢さんの勉強スペース

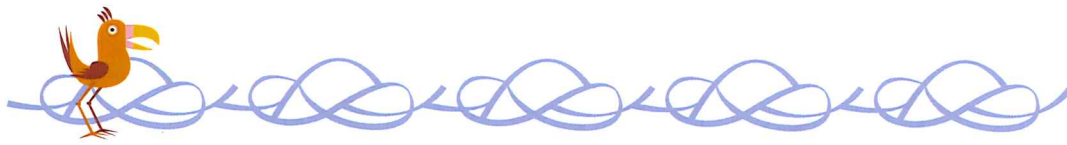


玄関戸は、以前の家の  
ドアの周囲に、棧  
をつけ、引戸として  
再利用

エントランスは昔懐  
かしい、通り土間と  
ガラリ格子戸。土間  
には群馬県藤岡市の  
「藤岡瓦」を敷いた。



図書室およびご主人のワーキングスペース



🍏 築70年の愛着ある家を、オルタスクエアの設計で建て替えられたNさんご家族（ご夫妻と小学校3年生のお嬢さん）。築1年の様子を取材してきました。

■オルタスクエアにご相談をいただいた経緯を教えてください

ご主人：元は妻の祖母の家だったこの家に15年間住んでいました。とても気に入っていましたが、色々傷みが進み不便になってきて、また耐震性能の心配もあったので、建て替えることにしました。オルタスクエアの住宅見学会に何回か参加させてもらったほかは、古民家の再生に取り組んでいる活動を見学にいったくらいです。

奥様：オルタスクエア設計の住宅を何軒か見学させていただきましたが、どの家にも個性があり、同じ家がひとつとしてありませんでした。施主の希望をよくきき、互いにコミュニケーションをとることで、できるだけ希望を具現化させているんだらうなと思います、信頼できたので、お願いすることにしました。

■お打ち合わせではどのような要望を出されましたか？

ご主人：設計士の堺原さんにお願いしたのは、平屋で建てたいということと、庭の木を切らずにそのまま活かしたいということ。本がたくさんあるのでその収納も考えたい、ということでした。提案していただいた設計プランがすばらしく、細かい修正のほかは、文句のつけようがありませんでした。その後の打ち合わせで、台所とワークスペースとのつながりを工夫してもらったり、広縁をさらに広げてもらったりしました。



奥様：「経年劣化」ではなく、「経年変化」を楽しめる家になりたいと思っていました。きちんとした素材できちんとつくったものは、時間がたつほど美しくなります。そのために、国産の木材や漆喰を使った家づくり、日本瓦の屋根、これまで住んでいた家の建具の再利用などをお願いしました。木材については、和歌山県の山長商店さんが、山をまるごと管理し山の命を大切にしながら美しい木材を生産していることから、ぜひお願いしたいと思いました。

■完成から1年が経ちましたが、冬と夏はいかがでしたか？

ご主人：「最初の冬だけは、床暖房の設定温度を低くしてほしい」とのことだったので、そのようにしましたが、寒さについては全く問題ありませんでした。日中は、低い日差しが深い庇に遮られることなく家の中に入ってくるので、暖房はほとんど必要ありません。一方、今年の夏は、深い庇が日差しを防いでくれていても、吹いてくる風が体温よりも高いので、冷房を使わざるを得ませんでした。以前の日本の夏なら、エアコンがなくても大丈夫な家だったと思いますが、日本の気候が変わってしまいましたね。

■最近では日本瓦の屋根も、杉板張りの外壁も、なかなか新築住宅で見る機会がありませんでした。

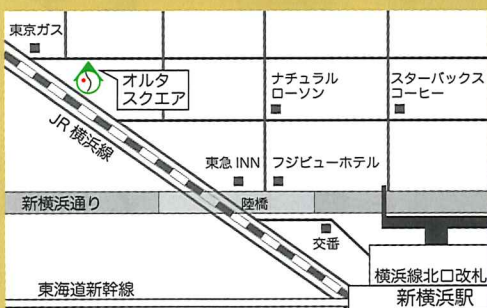
ご主人：日本瓦は雨の多い日本で築かれた住まいの知恵の一つだと思います。杉板張りの外壁は、年数が経てばメンテナンスが必要でしょうが、それも自分たちでやっていくつもりです。この掘り炬燵（こたつ）は、前の家にもあって、とても使い勝手がよかったです。この家でも備えました。前の家もそうでしたが、この家も、昔ながらの素材で、職人さんたちにきちんとつくってもらった、住まいの知恵が生きている家です。こういう家をもっと街の中に当たり前となって増えてほしいと思っています。

奥様：私たちはあと何十年かすればいなくなりますが、子どものまたその先の子どものことも考えても考えないといけない、と思っています。できるだけ自然に負荷をかけず、それが自然に還るかどうか。手入れをすることでより「美しさ」も増し、長く使うことができ、最後は自然に還るもの、この家も、そのようにしたいと思いました。地球に負荷をかけない「持続可能な」住まいを考えたら、素材とどう向き合うかは、とても大事だと思います。



庭の木を切らないように寸法を微調整して製作したウッドデッキ  
屋根は三州瓦、外壁の杉板張りはNさんご家族が天然オイルを塗って仕上げました

広縁に沿って、4畳半、3畳（お嬢さんのお部屋）、ピアノスペースが並ぶ。  
障子は以前の家にあったものに下残を付け増して高くしている



JR 横浜線の線路沿いです

生活クラブの家づくり  
**オルタスクエア** 株式会社  
<http://www.a-sq.co.jp/>  
生活クラブの住宅会社 信頼できる住まいの相談相手  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館1F  
電話：045(476)1105 (日曜・祭日休)  
FAX：045(476)1106  
mail: info@a-sq.co.jp  
(ご相談はメールでも受付けています!)

👑 私たちオルタスクエア株式会社は1998年に設立された生活クラブ神奈川の住宅部門を担う会社です。生活クラブ生協、福祉クラブ生協、意思ある住まいの専門家たちの出資を得て、住まいの「安全・健康・環境・文化」を実現していくために事業を行っています。



キッチンの配膳台も収納棚も、大工さんが木で製作



**木の味わいを活かした  
 マンションリフォーム**

■ 納戸につながる広い玄関土間。奥様のアイデアで、岐阜県から取り寄せた檜(なら)の輪切り材を埋め込みました

・東京都稲城市F邸



■ 一人暮らしのSさんの希望は『小さく住む』こと。建替前は道路から玄関までの階段を上るのがとても大変だったSさんの経験を伺ったことより、道路から玄関にスムーズに入れて、雨の日や荷物を抱えた時でも便利なプランを提案し、喜んでいただきました。白い西洋漆喰壁と木の内装が基本仕上げですが、洗面所は水色と黄色の模様張りの床、玄関収納と中2階トイレ壁は赤い色と楽しい住まいになりました。



**第二の人生を後押しする住まい・金沢区S邸**

これまで、多くの新築設計、リフォームの際、お施主さんと対話を通して、さまざまなアイデアが生まれ、素敵な建物が実現しました。数ある事例の中から、3つほど紹介します。



東京都稲城市F邸

杉無垢床のリビングと、ペランダがスムーズにつながるように、セラガンバツ材で簀の子をつくり、リビングと高さを揃えました



東京都稲城市F邸

ご夫妻で音楽をされています。杉無垢板張りの廊下壁に、これまで制作されたCDを飾る棚を作りました。天井の漆喰は、ご主人とご友人たちがDIYで塗ったもの



金沢区S邸

もしも車椅子生活になったら・・・と予備に設置した洗面脱衣室の2つ目のトイレ。カラフルな床と庭を眺められる快適な場所になりました。



金沢区S邸

内装のほとんどがシンプルなかきで、トイレは赤くとSさんが希望され、気分の上がる素敵なトイレになりました。



金沢区S邸

車から降りてすぐに玄関に入れます。靴の脱ぎ履きを手助けするベンチと手摺をセットで設置しました。ベンチ上窓はLDKにつながっています。

素敵な工夫をちりばめて・・・



リフォーム前

孤立していた北側のキッチン

■ 厚木市Fさんは、家族みんながリビングで楽しく過ごしているのに、一人キッチンで炊事しなければならぬプランを、リフォームで変えることがご希望でした。打合せを重ね、対面式キッチンのある16畳の広々としたLDKを実現。床は足に心地よいヒノキ無垢材。床下に断熱材を足しました。窓には真空ガラスを入れ、冬は暖かく、なにより結露がなくなり、健康な空気を作り出す漆喰壁は、職人さんと一緒にご家族も塗りました。



**孤立しないキッチン  
 広々としたLDKにリフォーム**

・厚木市F邸